

簡易測定法を用いた省エネ診断技術 及び省エネ効果の普及・実証事業 株式会社オオスミ（神奈川県）

ベトナム国の開発ニーズ

- ▶ ベ国では経済発展に伴い、エネルギー使用量が急激に伸びている。
- ▶ 省エネにかかる法規制は省エネ法 (NO.50/2010/QH12)を中心に整備されているが、実質的な取り組みは不十分である。
- ▶ 行政による事業所への具体的な省エネ管理の経験が不足。また、事業所による省エネ実施にかかる技術・人材が不足している。

普及・実証事業の内容

- ▶ 選定された複数の民間企業において、簡易省エネ診断を実施する。
- ▶ 国営企業・団体4社において、具体的な対策実施を見越した「省エネ施策導入ロードマップ」を策定する。
- ▶ 上記の活動結果・経験を通じ、簡易省エネ診断技術を用いた「省エネ診断実施マニュアル」を策定する。
- ▶ 省エネ診断の有用性の認知向上と普及に向けた方策を検討する。

提案企業の技術・製品



製品・技術名

- ・簡易省エネ診断をベースとした“省エネ技術サービス”を提供。
- ・“省エネ技術サービス”とは、以下の一連の省エネ対策にコンサルティングサービスを指す。
 - ①簡易省エネ診断で省エネポテンシャルを確認する。
 - ②省エネポテンシャルを踏まえ、複数の施策オプションを含めた実施ロードマップを策定する。
 - ③策定されたロードマップを基に省エネ対策が実施された場合、その省エネ効果を確認する。

ベトナム国側に見込まれる成果

- ▶ 対象となった企業が本事業の省エネ診断結果を基に、ベ国省エネ法で策定を義務付けられている「省エネ年次計画書」の策定、実施をおこなうことができる。
- ▶ 本事業のC/Pとなるダナン市商工局 (DOIT) が、OJTや省エネ診断マニュアルを活用して、省エネ管理能力が強化される。
- ▶ 本事業の結果と成果が普及され、結果としてベ国全体の省エネ法の推進に貢献する。

日本企業側の成果

現状

- ▶ オオスミは事業の海外展開を長期的な経営計画の目標として設定している。
- ▶ 海外でのビジネス市場の発掘、提供ビジネスの多様化を事業戦略として置いている。

今後

- ▶ ビジネスとしてマーケットの拡大が期待できる東南アジア諸国への進出の足掛かりとなる。
- ▶ 横浜市共創推進室と連携することにより、地元（横浜）の活性化に貢献できる。